

環境・心理小委員会活動計画

環境・心理小委員会

委員長 神作 博

1. 研究テーマ： 「公共的地下空間の知覚環境に関する研究」

2. 研究期間（任期）： 平成11年6月～平成14年5月（3年間）

3. 研究内容

心理小委員会での研究活動は、主として目標探索行動、災害時行動意識などを対象として展開してきた。一連の研究結果から、公共的地下空間における通常時の探索行動では、サインが重要な役割を果たしているが、非常灯などのサインには注意が払われていないことが明らかになった。また、非常時の避難行動の意識調査では、非常時場面を想定した回答であるにも関わらず、誰もが「自分は冷静な行動をとる」と考えているわけではないことが明らかとなった。これらの知見から、非常時における探索行動（避難行動）をより詳細に検討することが要請される。

本小委員会では、主として避難行動との関連から、公共的地下空間が提供する知覚環境（物理的、对人的）を検討する。具体的には、円滑な避難行動をガイドする空間デザインおよび対人相互作用の条件などが検討される。また、より広い観点からの地下環境－行動に関わる諸研究も継続して行い、環境－行動的側面からの地下施設の具体的評価も平行して行う。これらの活動を通じて、最終的に、既存の地下施設の具体的改善点および理想的地下空間の条件について、提言を行うことを目標とする。

4. 活動計画

1) 情報収集および調査計画

研究テーマに関連する文献・事例を収集し、蓄積する。具体的には、環境心理学を中心とした空間行動に関する諸研究、避難行動に関わる諸研究、地下施設を対象とした人間行動の諸研究、地下・地上における災害・事故の諸事例を収集する。文献・事例収集に平行して、調査・研究計画を立案する。

2) 調査・実験

主に調査・実験の計画はWGを中心に行い、小委員会の調整により各委員の協力を得て実施する。

3) 研究成果の報告

地下空間シンポジウム、土木学会全国大会等で、随時研究成果を報告する。

4) 地下施設評価

環境－行動的側面から、具体的な地下施設の評価を行う。

	1 年 目	2 年 目	3 年 目
情報収集・計画	←		→
調査・実験		←	→
研究成果の報告		←	→

5. 小委員会の運営

- 1) 各研究に対応したワーキング・グループ(WG)を設け、具体的な研究活動に当たる。
- 2) 小委員会は年間3～4回開催し、WG間の連携を図る。
- 3) 必要に応じ、公共の地下施設の視察を行う。
- 4) 随時、研究テーマに関わる専門のメンバーを増やし、研究内容の充実を図る

環境・心理小委員会名簿

(1999年10月29日現在)

	氏 名	所 属
委員長	神 作 博	中京大学 文学部
委員	渡 部 奥四郎	(社)全日本土地地区画整理士会
委員	堀 内 孝英	名城大学 理工学部
委員	西 淳二	名古屋大学 工学研究科
委員	奥 山 健二	名古屋市立大学 芸術工学部
委員	市 原 茂	東京都立大学 人文学部
委員	西 田 幸夫	(株)熊谷組 技術本部
委員	林 田 博明	(株)奥村組 技術開発部
委員	久 野 覚	名古屋大学 工学研究科
委員	榎 本 博明	大阪大学 人間科学部
委員	三 田 武	(株)日建設計 土木事務所設計室
委員	朝 倉 万里	日本女子大学 人間社会研究科
委員	大 谷 亮	中京大学 文学研究科
委員	土 居 倫子	大阪大学 人間科学研究科
幹事	粕 谷 太郎	鉄建建設(株) エンジニアリング本部
幹事	向 井 希宏	中京大学 文学部
幹事	田 中 正	名古屋大学 工学研究科
幹事	文 野 洋	東京都立大学 人文学部

第5回地下空間シンポジウム実行委員会

委員長	亀村 勝美					
委員	井田 隆久	工藤 康博	梨本 裕	西 好一		
	藤原 康政	文野 洋	三田 武	村上 和史		
幹事	粕谷 太郎					

(50 音順)

ご注意 当該出版物の内容を複写したり他の出版物へ転載するような場合は、必ず土木学会の許可を得て下さい。

地下空間シンポジウム論文・報告集－第5巻－

2000 年 1 月 12 日発行

編集者 〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目無番地 土木学会地下空間研究委員会

委員長 西 淳 二

発行者 〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目無番地

社団法人 土木学会 専務理事 三 好 逸 二

発行所 社団法人 土木学会

〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目無番地

電話 03-3355-3441 番(代表) Fax 03-5379-0125